

**製品名: CNOT4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09129**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	64kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CNOT4
別名	CNOT4; NOT4; CCR4-NOT transcription complex subunit 4; CCR4-associated factor 4; E3 ubiquitin-protein ligase CNOT4; Potential transcriptional repressor NOT4Hp
遺伝子 ID	4850.0
SwissProt ID	O95628
免疫原	抗血清はヒト CNOT4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 61-110

**背景**

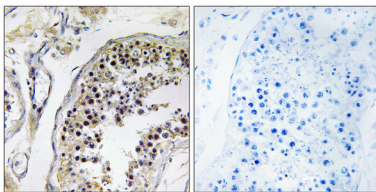
CCR4-NOT 転写複合体サブユニット 4 (CNOT4) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質は、転写全般を制御す

る CCR4-NOT 複合体のサブユニットである。コードされるタンパク質は CNOT1 と相互作用し、E3 ユビキチンリガーゼ活性を有する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見出されている。[RefSeq 提供、2010 年 7 月]、機能: E3 ユビキチンリガーゼ活性を有する。CCR4-NOT 複合体は、転写全般を制御する複合体として機能する。、経路: タンパク質修飾タンパク質ユビキチン化。、PTM:自己ユビキチン化。、PTM:DNA 損傷時にリン酸化される (おそらく ATM または ATR による)。、配列注意:配列エラー。、類似性:C3H1 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。、類似性:RING 型ジンクフィンガーを 1 つ含む。、類似性:RRM (RNA 認識モチーフ) ドメインを 1 つ含む。、サブユニット:CCR4-NOT コア複合体のサブユニットで、CHAF1A、CHAF1B、CNOT1、CNOT2、CNOT3、CNOT4、CNOT6、および CNOT8 を含む。C 末端を介して CNOT1 に結合する。RING ドメインを介して E2 ユビキチンリガーゼに結合する。、

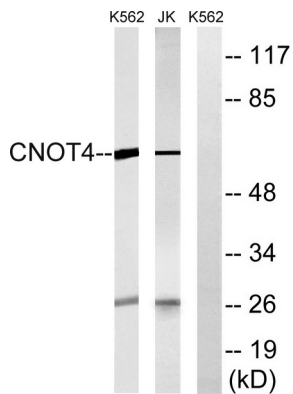
## 研究分野

RNA 分解;

## 画像データ



CNOT4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト精巣組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CNOT4 抗体を用いた Jurkat 細胞および K562 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。